

ほたる沢水路保全事業

取り組みに至る背景・事業の目的

- 岡谷市橋原区のほたる沢周辺の水田地域は、昔から多くのゲンジボタルが生息していたが、コンクリートによる水路整備により絶滅寸前の状況であった。平成 12 年に区民を始め各団体の協力により間伐材を利用した木製水路を約 200m 整備し、また、育成会の協力によりゲンジボタルの保護活動を開始したが、水路が老朽化し破損や漏水が激しい状況であった。

平成 18 年 7 月の豪雨災害によりゲンジボタルが減少したことから、区民の手により水路を改修し、再び多くのホタルが飛び交う自然環境づくりを行った。

事業内容

- 木製水路及び管理用道路（散策路）の整備
 - ・水路 L78.0m 復旧
 - ・管理用道路 L=52.0m 整備
 水路整備には、住民 100 名が参加
- 地元小学生への自然環境学習
小学生によるカワニナの餌まき時に実施（2回）
- 区民による地域活動（草刈）、ほたる祭を開催し、地域活性化を図った。
 - ・ほたる祭 平成 20 年 7 月 5 日開催（250 人参加）
 - ・草刈（2回）



【水路整備作業の様子】

事業効果

- 水路の復旧は予定（70.0m）を上回る 78.0m を整備することができた。
- ホタルについては、平成 20 年度は約 30 匹が確認でき、平成 21 年度には 100 匹が確認できるなど、水路改修による自然環境づくりの効果が見られた。
- 住民協働により水路や散策路の整備ができ、地域のほたる祭等で利用できる住民憩いの場を創出することができた。

工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

- 今後の主な取り組み
 - ・木製水路整備の推進（平成 21 年までに 200m）
 - ・水路管理道（散策路）の整備（平成 21 年までに 200m）
 - ・区民による草刈（2回）実施し、水路の維持管理を継続していく
 - ・小学生によるカワニナの餌やりを継続し、ゲンジボタル保護活動を継続していく
 - ・地域の活性化のため、ほたる祭を実施。記念日本酒「橋原ほたる沢」販売や小学生によるほたるのポスター募集を行う

【選定のポイント】

豪雨災害の復興とともに、昔のようにホタルが飛び交う自然環境づくりのため、地域住民が一体となった水路の改修作業やほたる祭を通じて、地域の活性化につなげることができた。

団体名	岡谷市橋原区（岡谷市）	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先	事務局（高林 一彦）	事業費	311,000円
	電話 0266-24-4513	支援金額	209,000円